

安全大会

マニュアル・教育レベルアップ

東海地区コンクリート庄 送有限責任事業組合

東海地区コンクリート庄送有限責任事業組合(長谷川員典理事長)は7日、名古屋市内で第8回安全大会・全庄連統一安全技術講習会と特別教育再教育を開いた。写真。庄送従事者約360人が参加した。



長谷川理事長は「業界のトップを走る団体として、マニュアル・教育のさらなるレベルアップを図っていく。組合員というプライドを持って、今後も安全最優

先で仕事に当たってほしい」とあいさつした。

安全大会では、林優一副理事長が2016年の安全目標を発表したほか、国土交通省中部地方整備局建設産業調整官の高鍋誠治氏が建設業を取り巻く最近の話題について解説した。また、基幹技能者の資格を取得した西田俊祐氏(中央建設)が代表して安全宣言をした。全庄連統一安全技術講習会では日本大学教授の中田善久氏、安全技術委員長の住井次郎氏、特別教育再教育では相談役の丹下正氏が講義した。